



コモンズ30 +しずぎんファンド

〈月次報告書〉



commons
asset management, inc.

● 基準価額の推移



● ファンドのデータ

(2019年10月31日付)

基準価額	12,972円
純資産総額	771百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除して
います(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用について」を
ご覧下さい)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の
増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成
基準日現在、年率1.265%(消費税込)です。

● 分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円	第3期 (2017年12月18日)	0円	第4期 (2018年12月18日)	0円
----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

● 基準価額(税引前分配金を再投資したものととして算出)の騰落率

(2019年10月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
6.38%	8.80%	3.60%	3.02%	25.62%	29.72%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

● ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド (マザー)	92.2%	0.4%
静岡銀行株式	8.0%	▲0.2%
現金等・その他	▲0.2%	▲0.2%
構成銘柄	31社	0社

● 運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎10月の個別銘柄リターン

10月のマザーファンドの月間リターンは、6.84%の上昇、当ファンドの月間リターンは6.38%の上昇となりました。銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「エーザイ(+43.64%)」、「堀場製作所(+18.27%)」、「ディスコ(+16.72%)」となりました。エーザイは、3月に臨床試験を中止すると発表していたアルツハイマー病治療薬「アデュカヌマブ」について、一転して米国食品医薬品局(FDA)に対して承認申請をすると発表したことで、再びこの新薬に対する期待感が高まりました。堀場製作所は、米中貿易協議の進展を受けて半導体関連株が上昇する局面で買われ、前月に引き続いて株価は大きく上昇しました。ディスコは、2019年12月期第2四半期決算発表において、営業利益が市場予想を上回ったことなどが好感されました。下位3銘柄は、「カカクコム(▲5.08%)」、「東レ(▲3.91%)」、「楽天(▲2.54%)」となりました。カカクコムは、「食べログ」などの飲食店情報サイトにおいて、掲載店が年会費などを支払えばサイト上の評価ポイントが上がるしくみになっているのではないかと報じられたことが嫌気されました。東レは、炭素繊維の主要顧客である米ボーイングが航空機生産のペースを縮小する計画を明らかにしたことが材料視されました。楽天は、10月から開始した携帯電話の試験サービスにおいて通信に接続できない問題が発生していると報じられたことを受け、通信事業に対する懸念が高まりました。なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は3.35%の上昇でした。アナリスト 原嶋 亮介

◎運用責任者メッセージ

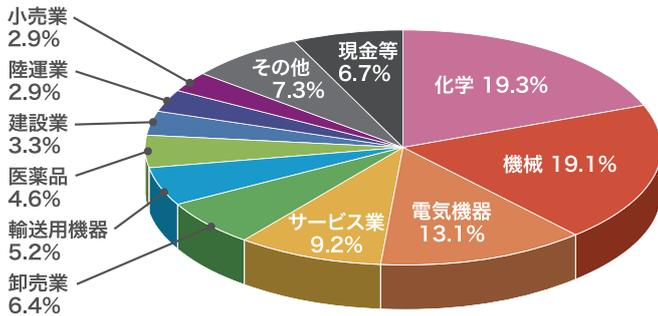
10月の内外金融市場は、米中協議の部分合意や英国の合意無き離脱の回避に向けた動きから2ヵ月連続での世界的な株高となりました。また、欧米及び日本での金融緩和強化の姿勢継続も株式市場をサポートしました。国内株式市場も、日経平均株価は約1年ぶりに23,000円を超える局面もありました。世界の景気敏感株とも言われる日本株は、欧米の株式市場に比べても相対的に高い上昇率となりました。当ファンドは+6.38%の上昇、マザーファンド投資先30銘柄中24銘柄が値上がりとなりました。TOPIX(東証株価指数;配当込)は+4.99%、日経平均株価も+5.38%の上昇でした。世界の株式市場は、景気回復の足音に敏感に反応し上昇を始めました。米中貿易などの政治的なリスクが再び台頭しなければ、年末から来春にかけてもう一段の上昇も見込まれる雰囲気になってきました。当ファンドは、こうした景気減速から景気回復に変化が見込まれる局面での企業の対応に注目し定点観測を続けて参ります。投資に対する姿勢、新しい景気回復を主導していく5Gへの対応などを継続的な対話の中で確認することになります。引き続き当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

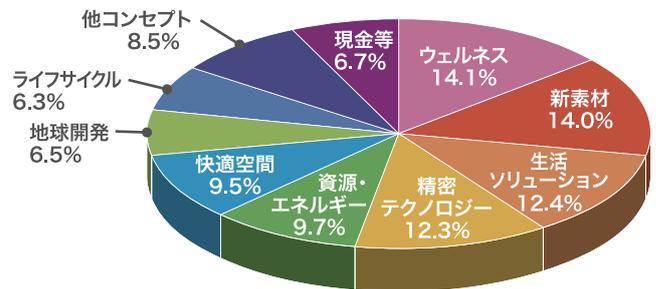
● コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

(2019年10月31日付)

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

● 組入上位10銘柄(静岡銀行株式を除く)

(2019年10月31日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
4523	エーザイ	ウェルネス	患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営	4.6%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー	3.7%
8113	ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.7%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.6%
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.5%
8058	三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.5%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.4%
6586	マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.4%
3407	旭化成	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業転換を続ける伝統企業	3.3%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

● 新規組入投資先

なし

● 今月のピック!

10月はエーザイの株価が43.64%上昇しました。10月22日にエーザイと共同研究開発先のバイオジェン社が、アルツハイマー病治療薬「アデュカヌマブ」について、臨床第Ⅲ相試験(「フェーズⅢ試験」)の結果に基づき、2020年の早い段階で新薬承認申請を予定していると発表しました。「アデュカヌマブ」は今年3月21日に、「フェーズⅢ試験」の中間解析より、当初の目標が未達となる可能性が高いと判断されて試験が中止されていました。今回一転して承認申請を目指す背景には、①今回は最終解析に基づくもので、中間解析と比較して、被験者のデータ数が大幅に増加したこと(1,748人→3,285人)。②「フェーズⅢ試験」は2015年8月にスタートしましたが、2017年3月からはそれまでの1回当たり最高投与容量6mg/kgから10mg/kgに増加させました。その結果、①で増加した被験者のうち、②の最高投与容量10mg/kgの被験者数が相対的に多くなったことから、最終解析において、より効果の高い被験者数の増加が良好な結果につながったようです。エーザイでは、もう一つアルツハイマー病治療薬「BAN2401」がフェーズⅢ試験進行中で、これら2つの治療薬の1日も早い市場投入を目指しています。

シニア・アナリスト 末山 仁

● こどもトラスト

～11月2日(土)コモンズ投信xtsumiki証券教育資金づくりセミナー開催～

私たちコモンズ投信は、毎年10月28日を「ジュニアの日」と名づけ、イベントを開催したり、様々な方よりメッセージを頂くなどして参りました。今年のテーマは教育資金づくりと金融教育。教育資金づくりはなるべく早く始めて時間を味方につけることが最大の準備なのですが、お子さんが生まれたばかり、もしくは小さいときにはなかなかそこまで頭が回らなかったり、お子様連れで相談できる場所が少なかったりと、ついつい時間が過ぎてしまうものです。そこでtsumiki証券さんの協力を得て、お子さま連れでも参加いただける場にしました。また、子どもにどんなふうにお金のことを教えたらいいのか、、、というのはお子さんをお持ちの方であれば一度は悩まれたことがある課題ではないでしょうか。そこで今回は、私たちが日頃取組んでいるこどもトラストセミナー「おかねの教室」の紹介や、コモンズ投信マーケティングチーム(通称:ばふーむ)の実体験を基にした金融教育をみなさまにお伝えする機会とさせていただきます。秋晴れに恵まれた当日、小さなお子様連れの親子に多数参加いただきセミナーはスタート。まずは教育資金づくりについてお話をしました。先に書いたように、ポイントは「なるべく早く時間を味方につける」なのですが、使い時と貯め時をしっかりと把握しておくことや、児童手当や幼児教育・保育無償化の分をしっかりと活用すること、また家計とのやりくりなどについて具体的にお話をさせていただきました。

後半のトークセッションでは、マーケティングメンバーが教育資金づくりのどのように行っているかや、金融教育については「おかねもちもありがとうもち」という考え方を日頃から活用することなどをお話。参加者の皆さんからも、「お小遣いはどんな風に渡していますか?」「電子マネーの普及によって子供にお金を遣うことをリアルに感じてもらえるのか心配です」といった悩みが寄せられました。教育資金づくりについても、金融教育についても「これが正しい」という答があるものではないと考えています。ただし、知って備えること、また、大人も子どもも、自分なりの“選択”が出来ることが何より大事ではないかと私たちは考えています。参加頂いた皆さまからは「教育資金に対して漠然とこのままでは足りないのではないかと不安を抱いており、理解を深めたいと考えていたので、本日のセミナーで理解が深まり、つみたて投資をしていきたいと思えました」「教育資金の考え方や、子どもとお金の付き合い方について少し理解することができました」といったお声をいただきました。

マーケティング部 福本 美帆



● ちょっといい話

【タイミング投資か長期保有か】

世界的な株高の局面を迎えています。例年、秋から年末年始にかけて株式相場は季節的にも上昇しやすい習性があります。国内株式市場でも日経平均株価は約1年ぶりに23,000円を超えてきました。誰が買っているのか?を投資主体別の株式の売買動向をみると春以降5カ月連続で現物株を2兆円以上売り越した海外投資家が10月から1兆円程度の大きな買い越しに転じています。海外投資家は、世界のモノづくり大国の日本は景気敏感株との認識があり、世界景気の底入れを意識しての買いに転じた様子です。一方で、個人投資家は9月以降の上昇相場で1兆円を超える売り越しです。海外投資家と日本の個人投資家は、これまでも全く違うスタンスとなることが多く見られました。同じ株価を見ているにも180度違うスタンスの投資家もいるということで、それだけタイミングを計ることは難しいともいえます。私たち投資信託を運用する会社は、商品を作り、日々、その商品を磨き続ける「生産者」です。農家の方々が、生産者として日々の天候などのコンディションに注意しながら美味しい野菜や果物を作られるように、私たちも投資信託という商品を日々の経済情勢や企業の取り組みを注意深く観察しながら手塩にかけて育てています。ご自身での株式投資は、その手間を自分で行うということになります。家庭菜園やベランダで少し野菜を育てる方もいると思いますが、主にはプロである農家の方々に任せしているのと同じように、自分の好きな製品を作るなどで応援したくなる企業は自分が直接株式投資を行い、その他の大切なお金はプロである運用会社に任せていくことが資産の長期的な成長につながるはず。投資信託は、本来成長を続ける商品です。なぜなら、商品を構成する企業が持続的な成長を目指しているからです。あとは3,800社もある企業の中から厳選する、その企業の目利きは運用のプロに任せる。投資信託の信託は「信じて、託す」というところから来ています。私たちも生産者として、愚直に商品を磨き続けていきます。直接の株式投資とは違い、投資信託は売買するものではなくゆったりと長期に保有をして成長を楽しむものです。引き続き、コモンズ30+しずぎんファンドにご期待ください。



コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井 哲朗

● コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

● その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

● 販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○			

● コモンズ30+しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 （信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

● お申込みメモ

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■ コールセンター（受付時間/平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ ウェブサイト

<https://www.common30.jp/>